

## 第2学年国語科学習指導案

平成26年 10月10日(金) 5校時 2年D組  
2年 D組 (男子18名 女子20名 計38名)  
授業者 教諭 加賀秀一

個人の研究テーマ：自分の考えを言葉で伝える生徒の育成。

### 1 単元名 4きずなを読む 言葉2 敬語

### 2 単元の目標

- (1) 敬語の意義や働きについて考えさせ、自分の言語生活の向上に役立てることができる。
- (2) 敬語の種類や特徴について理解させ、場面や状況に応じて、適切に敬語が使うことができる。

### 3 指導計画(全3時間)

- ・敬語の種類や特徴について理解し、適切な使い方について考える・・・1時間(本時1/3時間)
- ・敬語の適切な使い方についてまとめ、生活に生かす・・・2時間

### 4 本時の目標と評価規準 [学習指導要領との関連]

- (1) 敬語の種類や特徴を理解し、場面や状況に応じて適切に使うことができる。  
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ言葉の特徴やきまりに関する事項 (ア)話し言葉と書き言葉の違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること〕

### 5 本時の困難度査定(予想される生徒のつまずき)

- ・問題演習時に、敬語の誤用を見つけるのが難しいと感じる生徒がいる。(尊敬語と謙譲語の区別)

### 6 本時の指導構想

【説明する】	【理解確認】	【理解深化】
敬語の尊敬語・謙譲語・丁寧語3つの種類について、説明する。	問題演習を行う。	グループで話し合い、敬語を場面に応じて適切に使い分けできる。その使い分けの仕方を説明できる。
<目標に達しない生徒への手だて> ・グループ内での教え合い活動を通して指導目標の達成を図る。		
【自己評価】 ・敬語の3つの種類や特徴を理解し、場面や状況に応じて適切に使い分けができる。		

7 本時の展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点
説明 10分	1 尊敬語・謙讓語・丁寧語の違いを確認する。  2 学習課題（目標）の設定  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             敬語の種類や特徴を理解し、場面や状況に応じて適切に使うことができる。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡潔に説明し、誰に対しての敬語表現なのかをおさえさせる。</li> </ul>
理解 確認 15分	3 問題演習 1 敬語の3種類の使い分け、言い方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平易な問題を用意し、各自がスムーズに解けるようにさせる。</li> </ul>
理解 深化 20分	4 問題演習 2 敬語の誤用を見つけ、修正する。  5 グループ活動 活動をとおして、難易度の高い問題を小グループで検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「何か変だが、直すのが難しい」問題があり、グループで話し合うように仕向ける。</li> <li>・誰に対する敬語なのかを捉えさせる。</li> <li>・机間巡視を行い、適宜ヒントを与える。</li> <li>・グループで話し合ったことを発表させる。誰に対する敬語なのかを捉えさせ、正しい形を示させる。</li> </ul>
自己 評価 5分	6 本時を振り返って、学んだことなどを整理し、自分なりに記述し、交流する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語にはいろいろな種類があることがわかった。</li> <li>・敬語は日常生活で使うので、しっかり学んで、正しく使えるようになりたい。</li> <li>・クラスの仲間と学び合うことによって、わからなかったところが理解できるようになってよかった。</li> </ul> </div> 7 次時の予告と復習・予習の指示	◎尊敬語・謙讓語・丁寧語のそれぞれの特徴を理解しているか。尊敬語と謙讓語について場面や状況に応じて使い分けしているか。  (学習シート)